

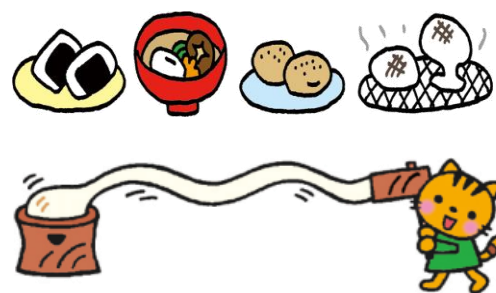
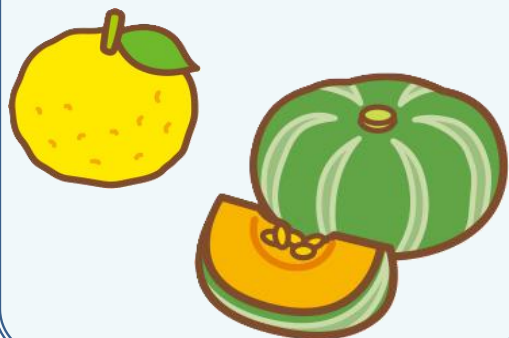
12がっひかりごう

令和7年12月1日 輝保育園

秋を通り越し、朝夕冷えるようになってきました。それでも子どもたちは元気いっぱい戸外で遊んでいます。3才以上児さんは寒くなったら上着を着る、温まったら脱ぐという事を、肌で感じながら学んでいます。今年も残り1か月になりました。今後、クリスマス、年末年始と楽しいイベントも待っています。しっかり食べ、体を動かし、ゆつくりと休息をとりながら、病気に負けずに過ごしましょう。本年も、保護者の皆様よりたくさんのご理解とご協力を賜りましたこと、大変感謝しております。

★冬至（とうじ）★

冬至は北半球において、一年で最も太陽の出ている時間が短く、夜が長くなる日です。冬至の日以降は日照時間が長くなっていくため、「太陽が生まれ変わる日」とも言われているようです。2025ねんの冬至は12/22です。柚湯に入ったり、かぼちゃを食べたりしてみてもいいかですか。



==== ナース・レポート ====

【乾燥・感染症対策で安心の冬を】

寒さがぐっと深まり、インフルエンザが流行しています。朝の検温で普段より高めの場合や、咳・鼻水などの症状があるときは、無理せずおうちでゆつくり休みましょう。

乾燥した空気は、喉や肌にも負担がかかります。加湿や水分補給、保湿ケアでやさしく守ってあげてください。年末年始は生活リズムが乱れがちです。夜更かしや食べすぎに気を付けながら、家族で楽しく過ごし、心も体も元気に新しい年を迎えましょう。園でも、手洗い、室内の換気や加湿、こまめな消毒などを行い、感染症の予防に努めています。ご家庭でも引き続きご協力をお願いいたします。



《《《 お 願 い 》》》

1. クリアケースの中と、お便り帳を毎日確認してください。
2. お金などの貴重品は、必ず職員に手渡しをお願いします。
3. 持ち物や衣類には名前の記入をお願いします。名前が薄くなっていないか、もう一度確認をして下さい。
4. 夜更かしをさせず、早寝・早起 をし、しっかり朝食を摂りましょう。



☆☆ 家庭の取り組み ☆☆

お手伝いしてもらったら

子どもがお手伝いをしてくれたら「ありがとう」、「助かったよ」など、親として「うれしい」という気持ちを率直に言葉や態度で表現しましょう。たとえ、少し中途半端だったとしても「まだ、できていないじゃないの！」ではなく「ここまでしてくれたのね、ありがとう」などやったことを認め、「次もやってくれるとうれしいな」というように、やる気を持たせることが大切です。

お手伝いや家庭での役割を

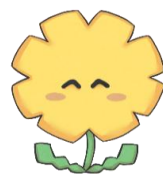
続けさせるポイント

- 簡単で、毎日できることから始めましょう。自然に習慣が身につきます。
- はじめは、要領やコツを教えながら親子で一緒に楽しみながらやってみましょう。
- うまいかないときは、どうしたらうまいか一緒に考えてみましょう。
- 多少時間がかかっても、最後まで待ち、達成感を感じさせましょう。
- 「ありがとう」、「助かった」など、感謝の気持ちを伝え、家族の役に立っていることや必要とされていることを感じさせましょう。

「教育力向上福岡県民運動ホームページ」より抜粋

こ っ こ ん ぽ ん の よ う す

たんぽぽぐみ
0才児



衣服の着脱、手洗い、スプーンを使って食事など身の回りのことに興味を示し、「やってみよう」「やってみたい」という気持ちがたくさん溢れています。外遊びの時には帽子を被ろうと頭に乗せたり、靴下をつま先に持って行ったりと自分でしようという姿をたくさん見るようになりました。もちろんお手伝いは必要ですが、「できた」という喜び、気持ちは自己肯定感に繋がるものです。その他にも園庭で遊ぶ時には階段を登ってみたり、鉄棒にぶら下ってみたり、遊具に果敢に挑戦し体の使い方を学んでいます。どうやって遊ぶのか分からない所から1人でスムーズにできるようになるまで時間はかかりません。あつという間に覚えてしまうのが子どもの吸収力のすごさです。今、興味を持っているこの時期にたくさん経験させ、より多くのことを学べる機会を作っていきたいですね。

たんぽぽぐみ
1才児



2才半になった子たちは、「友だちと一緒に」が楽しくなり、追いかけてっこをしたり、同じ遊びをして楽しんだり、言葉のやり取りをしながら遊んだりすることも増えてきました。たんぽぽ園庭に大好きなどんぐりがたくさん落ちていたり、小さな手のひらにたくさん集め、お友達の一つずつ「どんぐり、いる？はい、どうぞ」やどんぐりを持っていない子を見かけると「あげようか？」と声をかけてあげる姿も見られます。2才過ぎの子は、友だちが気になり始めましたが、まだ関わり方が分からず、トラブルになることもあります。その都度、保育者が仲介しながら関わり方を知らせています。2才前の子は、自分で出来ることが少しずつ増えはじめ、自由に動くことも出来るようになり、好きな遊びを繰り返し楽しんでいます。

すみれぐみ
2才児



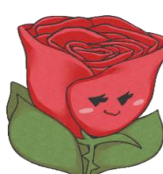
だんだんと冬らしい寒い日が多くなってきました。上着を着てくるようになり、着脱を頑張っています。着方が分からなかったり、ファスナーやボタンの留め方が分からず、困っている子ども達ですが、一緒に行いながら方法を知らせると、「自分でやってみよう」という思いが芽生え、自分で取り組む姿も少しずつ見られるようになりました。時間はかかりますが、最後まで諦めずに頑張っています。出来たときの喜びや達成感、より特別なものに感じられます。その経験が、「難しいけど頑張ってみよう！」という意欲に繋がります。お忙しいとは思いますが、子ども達が自分で頑張っているときは、温かく見守ってください。そして、出来たときはたくさん褒め、出来なかった時も、頑張ったことを認め、褒めてあげてください。大好きな家族の応援が、一番の力になります。ご協力よろしくお願いします。

ちゅうりつぐみ
3才児



運動会後から、友だちと駆けまわって遊ぶ姿が増えてきました。誰かが「ねことねずみ」や「狼さん、今何時？」などを始めると、そこへ「いれて！」と次々に他の子が加わり、大人数になって遊ぶ姿もみられます。3才児だけだと順番やタッチする時の力加減が出来ずにトラブルになって遊びが続かないこともありますが、返事を考えたり、逃げたり追いかけてたりが楽しいようです。年長児や年中児の遊びにも興味をもち、鬼ごっこやごっこ遊びに加わって一緒に遊ぶ姿もみられます。友だちも遊びも広がってきているようです。友だちが増えるとルールが大切になります。ルールを守って遊ぶことの大切さを感じられるようにしていきます。12月は寒くなってきますので、衣服の調節や手洗いを丁寧にして風邪の予防をしていきます。給食では箸の練習をしています。お家でも箸の練習と中指の位置の確認をお願いします。

ばらぐみ
4才児



こども達の会話を聞いていると「～とはもう遊ばない！」「先生に言ってくる！」などの言葉が聞こえてきます。意見のぶつかり合いは人との関わり方を学ぶ過程において不可欠ではあるものの、次のステップに向ってほしいとの思いを機に「ふわふわ言葉（嬉しい）」と「ちくちく言葉（悲しい）」についてお話することにしました。こども達は「ふわふわ・ちくちく」のワードに興味深々。話し終える頃には「ふわふわ言葉を100個見つけたい！」と目を輝かせ、翌日から言葉集めがスタートしました。現在50個程集まり「いっぱいになってきたね」と嬉しそうです。遊びや生活なかで「今の！ふわふわ言葉だったね！」と言葉のもつ温かい側面を感じ取っていくことを大切にしています。保育室の壁にこども達を感じた「ふわふわ言葉」を貼っています。ぜひ、ご覧ください。

ひまわりぐみ
5才児



11月はインフルエンザが流行し、みんなで病気に負けない体づくりについて話し合いました。子ども達からは「外で体を動かして遊ぶ」「ご飯をたくさん食べる」「早く寝る」という声が聞かれました。子ども達から出てきた考えを大切に、丈夫な体作りに取り組んでいきます。「外で体を動かして遊ぶ」ことに関しては、自分たちでバリアの場所や捕まった人を助ける方法などルールを決めて鬼ごっこをしたり、運動会後から走る競争をよく行っていて、楽しくというより本気で走って本気で勝とうと頑張る姿が見られます。あまり集団遊びに入ってこようとしなかった子も鬼ごっこを楽しむ姿が見られるようになり、集団で遊ぶ面白さを実感しています。「休息」に関しては、子どもによって保育時間が様々ですので、12月から30分から1時間位は体を休める程度に午睡を行います。

